

No.615

2025.12.15

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合



11月度月例会開催

11月17日(月)、組合研修センターにて月例会を開催しました。今月のテーマは先月に引き続き、岐阜県中小企業団体中央会 事務局長 大沼 浩宣 様をお招きして「中小企業組合とは—中小企業等協同組合法を解説—」について発表していただきました。組合制度のはじまりは「共に出資し、共に利用し、利益を分かち合う」仕組みとして創設されたこと「事業を行う者、勤労者が相互扶助の精神に基き共同して事業を行うために必要な組織について定め、公正な経済活動の機会を確保し、自主的な経済活動を促進し、その経済的地位の向上を図ることを目的とする」ことについて、法律・中小企業等協同組合法の関わりを解説してもらい、協同で事業をする意義や制度の仕組みを学び理解を深めることができました。



なお、月例会開催前に臨時総会を開催し、賦課金徴収中止について承認可決されました。

油流出時訓練

11月13日(木)正午から環境委員会と青年部合同で油流出時訓練を実施しました。

山本委員長の挨拶の後、訓練に移りました。木材を利用してオイルフェンスを張り、流出油を回収するものと表面の流出油をオイルプロッタで回収する拡散防止の訓練を行い、油流出時の初動対応や作業手順について確認しました。訓練では、実際の現場を想定した動きを意識し、参加者同士が声を掛け合いながら連携体制の強化を図ることができました。



少量の流出でも環境への影響は大きくなる可能性があります。地域の安全と環境保全のためには、事業所の皆様一人ひとりの意識と日頃の点検が欠かせません。油類の保管、設備の点検、作業中の管理体制について改めて確認をお願いいたします。また、本訓練を通じて、万が一の際にも迅速かつ確実な対応ができるよう、今後も継続した訓練と連携強化に努めてまいります。

インフルエンザ予防接種

11月14日・20日の2日間、組合研修センター 3階集会室にてインフルエンザ予防接種を実施し13社246名と多くの方にお申込みいただきました。

今年はインフルエンザの流行が例年より早まっています。感染予防のため引き続き手洗いうがいなど基本的な対策を継続していただくようお願いいたします。





ファンシーシールの世界

近年、我々製造業はなかなかの不景気ぶりで、自動車も工作機もアレもコレも概ね芳しくない厳しい状況にあるかとおもいます。

しかしながら世の中が如何に不況でも、需要過多で供給追い付かない。今！絶好調な業界ってのはどっかに必ず存在するもので、最近我が家の女子達にも直撃してしまった今売れてるファンシー雑貨業界の「シール帳」ってやつを記事のネタにしようかとおもいます。

ざっくり説明すると、100均や雑貨屋、文房具店などで売っているハガキ程度のサイズの台紙に数十点の色んなキャラクターなどのファンシーで小さなシール。これを集めてビニール素材の手帳（何度も貼ったり剥がしたりできる）にキャラクターの種類や色合いなど工夫しながらレイアウトして楽しむ趣味です。

かつて平成の時代に小中学生の女子達の間で流行ったものが、彼女達が大人になった今再び火が点いて、更にその子供達にも伝播した結果、幼児から大人まで幅広い世代にヒットし、品切れ続出！入荷待ち！なんて状況が全国の店舗で発生しているらしいのです。

「いや、シールなんてもんは何かのオマケで付いてくるやつだろう・・」などと思ってる自分にはよくわからん世界ではあるけれど、趣味とはそういうもの。

当人たちによればこの「シール帳」の良さとは、まずコレクションの楽しさがあり、可愛く作る楽しさがあり、それを眺める楽しさがあり、そして友達とそれぞのシールを交換しあう楽しさがある。1粒で4度美味しいとのこと。なるほどコミュニケーションツールとして良い感じに使えるから人気が出たんだなと、納得。

とはいえる、女子をターゲットにした商品が、おっさんな自分に刺さるはずもなく、興味は別の方に向くのです。・・・これ、どうやって作っているんだろう？

シールのバリエーションはもう無数にあるのか？ってくらい豊富。その中でも特に売れまくっているのが「ポンボンドロップ」という種類に代表される商品で、通常シールといえばペラペラで紙の2次元だけど、コイツらは厚みのある3次元形状になっている。

たぶん樹脂とおもわれる素材は硬めのものからプニっとしたもの、半透明だったりキラキラしてたり様々で、普通に金型成型？それとも3Dプリンタ的な積層？この複雑で緻密な印刷はどんな設備でやるんだろう、中に水が入っているやつまである。アイデアも面白いし実現する技術も素晴らしい。いったいどんな工程なんだろう、製造現場を見てみたいなあ。

この種の3Dシールは一枚500円を超えるほどの高額品だが、作る側の視点で製造コストを想像すると、まあそうか、と思えてくる。

メーカー各社は人気に応えるべく大急ぎで増産体制を強化しているようだが、生活必需品でも無い流行商品はいずれどこかでピークを迎えて減衰へと転じる時期が来るのは、たぶん避けようがない。それは案外早く訪れてしまうのか、ピークなんてまだまだ先か、果たして波の高いうちに投資回収できるのかどうか。他人事ながら設備投資のタイミングって難しいよなあ。そんなシール帳界隈の今後の展開がちょっとだけ気になります。

ちゃも



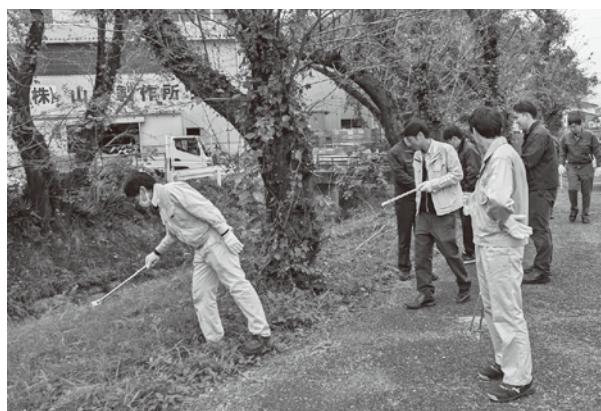
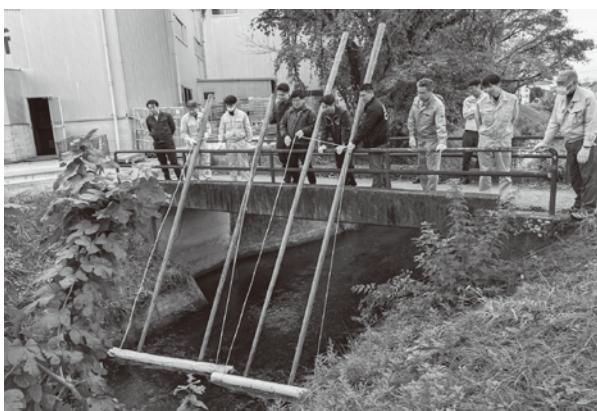
油流出時訓練に参加

「ちょ、それ、そっちもって」

言われるがまま3m程度ある丸太の棒を担ぐ。目的的にはそれほどではないものの如何せん長さがあるので中々制御がつかない。どうやら2人がかりで保持するものようである。11月13日の昼下がり金属団地内で油流出時訓練が行われた。私は初参加であったため、要領がつかめず困惑していた。見よう見まねで団地組合と山村製作所の間にかかる橋からドブ川に向けて丸太の端を下し、丸太にそって布の塊を下す。どうやらこの布によって油をせき止め回収するようだ。一連の動きを確認したところで次の場所へ。

2箇所目では、より下流に移動し長い垂れ幕を橋から降ろす内容のようだ。先ほどの布でせき止められなかった油をこちらで吸着するらしい。二人で作業可能な内容であるため、多くの人間はその様子を眺めている。こちらも数分で作業が終わった。訓練終了後は川沿いのゴミを拾い集め環境美化に努めた。

私が子供のころ、父に連れられて会社に遊びに行った時にはよく側溝に住むザリガニを捕まえたものであるが、当時は側溝に油が浮いていた記憶がある。二十数年前の記憶であるため、定かではないが、平成以降であっても周辺環境への対応が如実に変わっているものと肌身で感じる。近年では働き方改革や安全衛生基準がより厳しくなり、今まで通りの操業では中々難しくなっている。今後はあらゆる方面で変化に対応しないと操業自体が危ぶまれる企業も出てくるだろうと感じた出来事であった。



金属団地ゴルフ会＆青年部合同ゴルフ

「グリーンヒル関」と書いて「3パット」と読む。

私含め、参加した全員辛酸を舐めたであろうあのポテトチップスグリーン。もし仮にポテトチップスにグリーンヒル関風味があるとするならば非常に酸っぱいに違いない。ここまで難しいグリーンだと日頃どれほどOKに助けられていたかが分かる。それに前ホールを引きずったまま次ホールのティーグラウンドへ向かえばティーショットがあらぬ方向へ飛んで行く。ゴルフとはつくづくメンタルスポーツであると実感する。

そういえば「メンタルを鍛える」という点ではコンペパーティーでも大変ありがたいことがあった。今回のコンペで個人的に勝負をしていたA鉄工のA専務とM木型のM社長には大変ありがたいお言葉を頂いた。二人に今回の負けを報告に行くと、

A専務「むほ～！気持ちいい～！おい、早くクラブメルカリで売れよ！」
 M社長「ウッヒョヒョヒョ！俺、今日調子悪かったんやけどな～、それでも勝っちゃうな～！ま、懲りずに頑張りたまへ笑」
 とお声がけいただいた。

皆様は「アンガーマネジメント」という言葉をご存じだろうか？アンガーマネジメントとは「怒り」の感情と上手に付き合い、コントロールするための心理的トレーニングである。ビジネスシーンで顧客との認識の齟齬によってカッとなって取引を台無しにしてしまう事や部下への指導でつい熱くなつて怒鳴り散らし離職に繋がってしまうなんてこともある。「怒り」という感情はパフォーマンスとして出す場面はあれど、コントロールすべき感情であると私は考える。

上のお二人には自分の怒りの感情をコントロールする機会を頂いたので、次回勝利した暁には「同等以上の機会をご提供させていただきたい」と思った次第であります。



私の休日

旧友との再会

株式会社中川製作所
 岡野宗治

20年ほど前、無趣味になってしまっていた私は、年齢も顧みず、「久しぶりにバンドでもやろうかな？」と思い、メンバー募集掲示板で知り合った仲間と音楽スタジオに入るようになりました。バンドでの演奏はかなりのブランクがありましたが、爆音を出すのが楽しく、やがてライブハウスの企画ライブに出演するようになりました。企画ライブに出演するとまたそこで音楽仲間が増えていきました。

そんな仲間に誘われて観に行ったライブで、運命的な再会がありました。なんと私が二十歳の頃一緒にバンドを組んでいた友人（実際は1学年上の先輩）と30年ぶりに再会したのです。私の見た目があまりにも変わっていたので、驚かれましたが、懐かしい話で盛り上がり、後日、私はその友人のバンドに加入することとなりました。

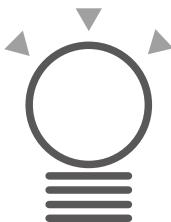
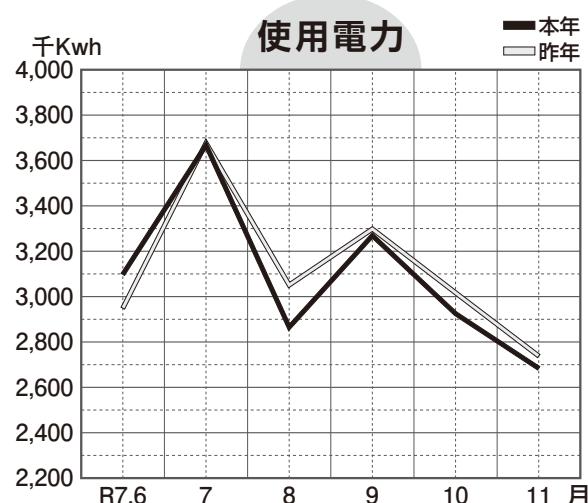
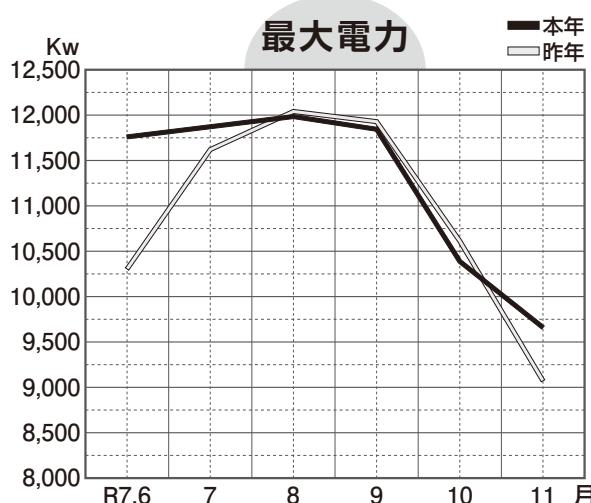
若い頃と違い、活動は隔週の休日限定で、ライブも年1回か2回のペースです。しかしこの30年ぶりの再会を大切にしながら、長く続けていけたらと思います。





お知らせ

令和7年11月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

エコキュート ② 11月号からの続き

④災害時に貯水タンクとして活用できる：エコキュートの貯湯ユニットには、お湯や水をためておけます。

災害などで水道や電気が止まってしまった場合、お湯や水を緊急的に利用するための貯水タンクとして活躍します。

⑤寿命(耐用年数)が長め：エコキュートの寿命(耐用年数)は長く、環境や使用状況にもよりますが10年程度とされています。初期の導入コストこそかかりますが、その後は長く使用でき電気代を節約できます。

⑥環境に優しい：エコキュートは、環境への配慮も行き届いています。お湯を沸かすのに大気中の熱を使うので、使用するエネルギー量が少なくすみます。また、冷媒にフロンを使っていないためオゾン層破壊しないことや、ガス給湯器と比較するとCO₂の排出量が約半分で済むため、環境に優しい設備といえます。

4 エコキュートにかかる電気代目安

エコキュートの電気代は、年間で約4万300円、1ヶ月あたり約3,358円が目安です(2024年7月時点)。

ただし、エコキュートの電気代は、外気温・使用機種・お湯を沸かす時間・お湯の量などによって大きく変動します。各ご家庭に適した電気料金プランを見つけることが大切です。

5 まとめ

エコキュートは大気中の熱と電気の力でお湯を作る給湯器です。従来の給湯方法と比較すると、環境に配慮しながら電気代も安くおさえることができます。導入時の初期コストが高額になりやすい傾向にありますが、導入にご不安をお持ちの場合は、初期費用0円で開始できる中部電力ミライズのリースサービスの利用をご検討ください。

行事予定

2025 12 December

16	
火	
17	
水	
18	
木	
19	
金	
20	団地G・忘年会 『組合休日』
土	
21	
日	
22	
月	
23	
火	
24	
水	
25	
木	
26	
金	
27	『組合休日』
土	
28	
日	
29	『組合休日』
月	
30	『組合休日』
火	
31	『組合休日』
水	

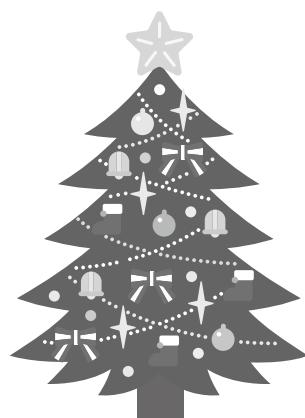
2026 1 January

1	木	『元日』
2	金	『組合休日』
3	土	『組合休日』
4	日	『組合休日』
5	月	令和8年新年互礼会(川崎岐阜協同組合)
6	火	令和8年南宮大社初詣・神事並びに新年互礼会(金属団地)
7	水	
8	木	
9	金	令和8年新年互礼会(各務原商工会議所)
10	土	『組合休日』
11	日	
12	月	『成人の日』 『組合休日』
13	火	
14	水	
15	木	

■ 11月度金属団地ゴルフ会

11月22日(日) グリーンヒル関ゴルフ俱楽部

優勝 小栗國男(信栄ゴム工業) 2位 森田吉久(テクノ共栄) 3位 柳原弘幸(鶴飼)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

